

シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	藤原 美穂子		
学科	ミュージック科		授業方法	ゼミ		
認定単位	4単位	開講期	必選	授業時間数	72時間	
開講学年	1学年	必・選				
授業目的	各々の目標を明確にし、実現のための「考える力」を養う。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	グループワークを通じてコミュニケーション力を高め、視野を広げていく。					
授業概要	様々な音楽制作の場を想定したシミュレーション。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	各々自己紹介をし、互いを知り、理解できる下地を作る。自身のやりたいこと、	19	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	2	「お互いの学びのためにどのように協力しあえるか」を相談し、グループを作成。	20	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	3	グループまたは個々で自分たちの作品を「どんな場でのように役立てていけるか」を想定し、企画作りを行う。	21	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	4	企画作成の具体化、各方面へのアプローチの仕方を調べ、できることを探っていく。	22	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	5	企画作成の具体化、各方面へのアプローチの仕方を調べ、できることを探っていく。	23	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	6	企画作成の具体化、各方面へのアプローチの仕方を調べ、できることを探っていく。	24	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	7	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	25	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	8	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	26	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	9	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	27	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	10	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	28	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	11	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	29	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	12	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	30	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	13	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	31	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	14	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	32	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行		
	15	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	33	一年間の学習を通して得たもの、頑張ったこと、今後の目標を明確にする。		
	16	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	34			
	17	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	35			
	18	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	36			
成績割合	テスト		学習FB方法	企画の立案や実行を通し、自分達の反省だけでなく、協力を仰いだ他学科や外部団体からフィードバックをもらい、今後に活かしていく。		
	学習態度・出席率					
	レポート		成績評価	どれだけ積極的かつ意欲的に取り組んでいるか、建設的に物事を捉え、発展性があるかを評価。		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	ミュージカル・演劇への出演や、ジャズコーラスグループでの活動、子ども向けイベントの「唄のおねえさん」、他アーティストのコーラスサポート等、ライブやイベント、ディナーショー等への出演を多数経験。 司会者としても長い経歴を持ち、1000組近い披露宴、イベント、企業のパーティーのMCを経験。					

シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	東川 拳也	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	36時間
授業目的	社会人基礎力を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	人間性の向上を目標とし、思いやりを持った行動、基礎的なマナー、主体的に取り組む姿勢が出来るようになる				
授業概要	社会人としてのルール、学校生活を送る中でのルールを座学方式で学ぶ 学内のイベントに向けて学生自ら企画・運営を主体的に行い、問題解決力を身につける				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	目的目標設定について	19	卒後ビジョンについて	
	2	みどりの村オリエンテーション	20	業界適性検査	
	3	海外姉妹校プロジェクトについて	21	職業研究	
	4	思いやりと気遣い	22	求人票の見方	
	5	社会探求ーOB・OGの講話①	23	求人票の探し方	
	6	社会探求ーOB・OGの講話②	24	履歴書の書き方	
	7	一般常識試験	25	業界一般常識試験	
	8	一般常識試験の講評	26	業界一般常識試験講評	
	9	チームビルディング①	27	マナープロトコール検定対策①	
	10	チームビルディング②	28	マナープロトコール検定対策②	
	11	メールの打ち方 電話応対の仕方	29	マナープロトコール検定対策③	
	12	メールの打ち方 電話応対の仕方	30	TECHNOS展参考出品準備①	
	13	TECHNOS祭企画	31	TECHNOS展参考出品準備②	
	14	TECHNOS祭学科企画準備①	32	TECHNOS展参考出品準備③	
	15	TECHNOS祭学科企画準備②	33	TECHNOS展参考出品準備④	
	16	TECHNOS祭学科企画準備③	34	TECHNOS展参考出品準備⑤	
	17	TECHNOS祭学科企画準備④	35	TECHNOS展参考出品準備⑥	
	18	TECHNOS祭学科企画準備⑤	36	TECHNOS展参考出品準備⑦	
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	30%	成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール	担任・副担任が担当する				

シラバス

科目名	アナライズ I		担当者名	森重 恭典	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	音楽制作・作曲・編曲に必要な楽曲分析力を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	既に習得している音楽理論の知識を基に楽曲分析することで、多種多様な音楽の理解力と創作力・アレンジ能力を身に付ける。				
授業概要	楽器演奏・音楽制作に必要な音楽理論の講義を音で確認しながら、様々なジャンルの楽曲の研究を実施する。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	譜面に使用される記号・表示の解説	19	ノンコードトーンの解説	
	2	既製楽曲の譜面を例に一般的な表示の解説①	20	メロディーの分析・研究①	
	3	既製楽曲の譜面を例に一般的な表示の解説②	21	メロディーの分析・研究②	
	4	楽器毎の一般的な譜面表記①	22	メロディーの分析・研究③	
	5	楽器毎の一般的な譜面表記②	23	メロディーの分析・研究④	
	6	楽器毎の一般的な譜面表記③	24	メロディーの分析・研究⑤	
	7	楽器毎の一般的な譜面表記④	25	サブコードの解説①	
	8	楽器毎の一般的な譜面表記⑤	26	サブコードの解説②	
	9	音階・調性の解説	27	サブコードの解説③	
	10	コードの解説	28	コード・スケールの解説①	
	11	コード進行の解説	29	コード・スケールの解説②	
	12	コード進行の分析・研究①	30	コード・スケールの解説③	
	13	コード進行の分析・研究②	31		
	14	コード進行の分析・研究③	32		
	15	コード進行の分析・研究④	33		
	16	コード進行の分析・研究⑤	34		
	17	コード進行の分析・研究⑥	35		
	18	コード進行の分析・研究⑦	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	作品制作・アレンジ I		担当者名	
学科	ミュージック科		授業方法	実習
認定単位	3単位	開講期		授業時間数
開講学年	1学年	必・選	必選	108時間
授業目的	自分の中でイメージした音楽を具現化させる術と、その楽しさを学ぶ。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	音楽理論に基づく作曲法と、実際に楽曲を形にするDAWの基本的な操作を習得する。			
授業概要	音楽理論に基づく作曲法やDAWに関するテクニックの講義。併せてそれらを身につける為の課題を提示し、DAW上で制作させる。			
授業計画表	授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	自由曲制作1:①制作・添削
	2	オリエンテーション2	20	自由曲制作1:②制作・添削
	3	オリエンテーション3	21	自由曲制作1:③制作・添削
	4	機材説明	22	自由曲制作1:④発表・講評
	5	シンセサイザー講座:①基礎知識	23	完コピ音源制作1:①楽曲&必要テクニック解説
	6	シンセサイザー講座:②音色作り	24	完コピ音源制作1:②制作・添削
	7	ミックス講座:①基礎知識	25	完コピ音源制作1:③制作・添削
	8	ミックス講座:②エフェクト	26	完コピ音源制作2:①楽曲&必要テクニック解説
	9	ミックス講座:③実践・添削	27	完コピ音源制作2:②制作・添削
	10	課題曲制作:①楽曲解説～リズムトラック	28	完コピ音源制作2:③制作・添削
	11	課題曲制作:②メロディ・ウワモノ	29	完コピ音源制作2:④発表・講評
	12	課題曲制作:③ミックス	30	自由曲制作2:①制作・添削
	13	課題曲制作:④発表・講評	31	自由曲制作2:②制作・添削
	14	作曲講座1:①キーの設定～メロディ作り	32	自由曲制作2:③制作・添削
	15	作曲講座1:②コード進行	33	自由曲制作2:④発表・講評
	16	作曲講座1:③曲の構成	34	確認テスト・まとめ1
	17	楽曲分析①	35	確認テスト・まとめ2
	18	楽曲分析②	36	確認テスト・まとめ3
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	成績表送付
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	木下龍平 アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。 SUPA LOVE所属作家。			

シラバス

科目名	リーディング I		担当者名	森重 恭典	
学科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	音楽制作・作曲・編曲に必要な読譜能力を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	既に習得している音楽理論の知識を基に譜面表記の能力と読譜能力を習得することで、多種多様な音楽の理解力と創作力・アレンジ能力を身に付ける。				
授業概要	楽器演奏・音楽制作に必要な譜面表記と読譜を音で確認しながら実習する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	リズムパターン実習①	19	既製楽曲メロディーコピー記譜実習④	
	2	リズムパターン実習②	20	既製楽曲メロディーコピー記譜実習⑤	
	3	リズムパターン実習③	21	既製楽曲メロディーコピー記譜実習⑥	
	4	リズムパターン実習④ メロディー読譜実習①	22	既製楽曲のスコアリーディング①	
	5	リズムパターン実習⑤ メロディー読譜実習②	23	既製楽曲スコアリーディング②	
	6	リズムパターン実習⑥ メロディー読譜実習③	24	既製楽曲スコアリーディング③	
	7	リズムパターン実習⑦ メロディー読譜実習④	25	既製楽曲スコアリーディング④	
	8	リズムパターン実習⑧ メロディー読譜実習⑤	26	既製楽曲バンドスコア記譜実習①	
	9	リズムパターン実習⑨ メロディー読譜実習⑥	27	既製楽曲バンドスコア記譜実習②	
	10	リズムパターン実習⑩ メロディー読譜実習⑦	28	既製楽曲バンドスコア記譜実習③	
	11	リズムパターン記譜実習① メロディー読譜実習⑧	29	既製楽曲バンドスコア記譜実習④	
	12	リズムパターン記譜実習② メロディー読譜実習⑨	30	既製楽曲バンドスコア記譜実習⑤	
	13	リズムパターン記譜実習③ メロディー読譜実習⑩	31		
	14	リズムパターン記譜実習④ メロディー記譜実習①	32		
	15	リズムパターン記譜実習⑤ メロディー記譜実習②	33		
	16	既製楽曲のメロディーコピー記譜実習①	34		
	17	既製楽曲のメロディーコピー記譜実習②	35		
18	既製楽曲メロディーコピー記譜実習③	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	国立音楽大学作曲科在学中にベース奏者としてプロデビュー。 音楽講師としても音楽理論・アレンジ・ヴォイストレーナーとして活躍。				

シラバス

科目名	ソングライティング I		担当者名	宗田 良一	
学科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	作詞作曲に関する様々な方法やアプローチの仕方を習得する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	詞先、曲先など様々な作品作りのアプローチの仕方やそこに伴うテクニカルや感情の流れなどを考え、個々の作品作りに対して様々な目線を養っていく。				
授業概要	実際に歌詞からメロディーを考えてみたり、あるメロディーに歌詞を作成してみる。更に作詞作曲などを通して、歌のイメージ、歌唱や演奏方法なども学んでいく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介 作曲に関する説明 歌詞(主題を決めて、文章でも良い)を書いてみる。	19	授業18で書いた歌詞をランダムに入れ替え、その詞にメロディーを乗せる。	
	2	実際にある曲(童謡など)に自分なりの歌詞を乗せてみる (主題は決める)	20	作曲の続きと譜面作成。コード乗せなど。	
	3	授業2で乗せた歌詞を確認して、その歌詞に合う様にメロディーのアレンジを試みる。	21	クリスマスソング作成(曲先メインで詞の同時進行可)	
	4	授業3でアレンジした曲を自分のキーに合う様にして譜面を作成する。	22	クリスマスソング作成の続き2	
	5	授業4で作成した曲を発表して、より良い形への修正を試みる。	23	クリスマスソング作成の続き3	
	6	有物の曲(洋楽)にオリジナルの歌詞を乗せてみる。(主題は決める)	24	授業23までに作成したクリスマスソングを発表	
	7	授業6で考えた歌詞を譜面を作成して乗せてみる。	25	1年次最終提出に向けて、アップテンポとバラードの2曲を作詞、作曲	
	8	授業7で作成したものを発表する。その後、全ての歌詞を組み合わせ新たな歌詞を作る。	26	提出用曲、2曲の作成(2)	
	9	授業8で作成した歌詞に各自新たなメロディーを考えてみる。	27	提出用曲、2曲の作成(3)	
	10	授業9の続きで作曲、出来たら譜面の作成。	28	2曲の提出(4)	
	11	授業10までに作成した曲を完成させる。 出来れば発表する。	29	発表及び予備日	
	12	有り物のカラオケから、全く別のメロディーを考えてみる。 譜面も作成。	30	オリジナル課題制作日①	
	13	授業12で作ったメロディー譜に歌詞を乗せてみる。	31	オリジナル課題制作日②	
	14	授業13までに作成した曲を発表して、より良くなる様に修正してみる。	32	発表	
	15	詞先での作曲の為、授業1で書いた歌詞を見直し、曲を作成。	33	オリジナル課題制作日①	
	16	授業15で作成した曲を譜面に反映させる。	34	オリジナル課題制作日②	
	17	授業16で完成した曲を発表してみる。	35	発表	
18	詞先での作曲の為に歌詞を作成。アップテンポ、ミディアムナンバー用	36	楽曲制作まとめ		
成績割合	テスト		学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	70%			
	レポート	30%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>80 A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	ミュージカル俳優、作詞作曲家、ヴォーカル講師として幅広く活躍。				

シラバス

科目名	ボイストレーニング I (女子)		担当者名	藤原 美穂子	
学科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位	3単位	開講期	必選	授業時間数	108時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	一人一人に合った発声法を身につけ、表現の幅を広げて行く。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	自身の声の長所を伸ばすことで自信をつけ視野を広げ、他者の長所をも発見し影響し合って、建設的により良い作品づくりに生かす。				
授業概要	<p>1. 基礎を身に付けるためのトレーニング(ストレッチ、必要に応じて筋肉や体幹へアプローチするトレーニング、プレストレーニング、発声練習等)</p> <p>2. 1を実際の歌唱に活かすための歌唱練習</p>				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	姿勢、プレストレーニング、発声、歌唱等	19	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	
	2	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	20	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	
	3	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	21	響き、表現、歌唱など	
	4	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	22	響き、表現、歌唱など	
	5	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	23	響き、表現、歌唱など	
	6	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	24	響き、表現、歌唱など	
	7	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	25	人前で良いパフォーマンスをするための「適度な集中と適度なリラックス」のバランスをとるトレーニング	
	8	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	26	トレーニング、歌唱等	
	9	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	27	トレーニング、歌唱等	
	10	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	28	トレーニング、歌唱等	
	11	人前で良いパフォーマンスをするための「適度な集中と適度なリラックス」のバランスをとるトレーニング	29	おさらい、実技。	
	12	滑舌、ロングトーン、歌唱など	30		
	13	滑舌、ロングトーン、歌唱など	31		
	14	滑舌、ロングトーン、歌唱など	32		
	15	おさらい、実技	33		
	16	前期授業おさらい(必要なトレーニング、歌唱など)	34		
	17	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	35		
18	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	36			
成績割合	テスト		学習FB方法	学生同士がお互いに歌唱を聴き合い、アドバイスし合う。	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	実技。授業内容をどれだけ理解し、自身で深められているかを評価。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	ミュージカル・演劇への出演や、ジャズコーラスグループでの活動、子ども向けイベントの「唄のおねえさん」、他アーティストのコーラスサポート等、ライブやイベント、ディナーショー等への出演を多数経験。 司会者としても長い経験を持ち、延べ1000組にも及ぶ披露宴、イベント、企業のパーティーのMCを経験。				

シラバス

科目名	クリエイティブワーク I		担当者名	今村 陽子、藤原 美穂子	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位	4単位	開講期	必選	授業時間数	144時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	音楽活動をする上で必要なプロデュース力を養う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	プロジェクトのスケジュールを適切に立て、実行する力を養う。				
授業概要	音楽プロジェクトのチームビルディング、楽曲制作、プロモーション撮影、ライブ企画のサイクルを通年で行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	プロジェクトプラン立て チームビルディング①	19	ライブ演奏 プロジェクト振り返り	
	2	プロジェクトプラン立て チームビルディング②	20	楽曲制作①	
	3	プロジェクトプラン立て チームビルディング③	21	楽曲制作②	
	4	楽曲制作①	22	レコーディング①	
	5	楽曲制作②	23	レコーディング②	
	6	楽曲制作③	24	レコーディング③	
	7	楽曲制作④	25	MV収録①	
	8	レコーディング①	26	MV収録②	
	9	レコーディング②	27	MV収録③	
	10	レコーディング③	28	ライブリハーサル	
	11	レコーディング④	29	ライブ演奏 プロジェクト振り返り	
	12	レコーディング⑤	30	楽曲制作①	
	13	MV収録①	31	楽曲制作②	
	14	MV収録②	32	レコーディング①	
	15	MV収録③	33	レコーディング②	
	16	MV収録④	34	MV収録	
	17	ライブリハーサル①	35		
	18	ライブリハーサル②	36	ライブ発表 プロジェクト振り返り	
成績割合	テスト	実技テスト	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	出席率80%以上			
	レポート	無し	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	音響ゼミ I		担当者名	梶 将太郎	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	音響機器の取り扱いや、特性に対する知識を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	様々なマイクの種類や、ミキサー、スピーカー、アンプといった音響機器の取り扱いを学び、レコーディング等の場面において適切に選択できる能力を身につける。				
授業概要	音響工学も含めた観点から、音響機器の取り扱いについて講義を行い、音を出しながら行う。実際に録音も行い、様々な機器を比較しながら確認する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1		19		
	2		20		
	3		21		
	4		22		
	5		23		
	6		24		
	7		25		
	8		26		
	9		27		
	10		28		
	11		29		
	12		30		
	13		31		
	14		32		
	15		33		
	16		34		
	17		35		
	18		36		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	ペーパーテスト/レポート提出によって行う。	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	30%	成績評価	上記に加え、授業態度を加味して行う。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>40 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	梶 将太郎 1993年5月6日生まれ。 レコーディングエンジニア/ベーシスト。 専門学校横浜ミュージックスクールベース科 卒業。				

シラバス

科目名	コーラスワーク I		担当者名	島田 道生	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	コーラスアンサンブルに於けるハーモニーの特徴を知り、それを実演するための方法を研究する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	コーラスアンサンブルを実習し、ハーモニーに対する聴力を養い、実演するための技術を養う。				
授業概要	コーラスアンサンブルに於ける呼吸法、発声法、発音法、和声感、表現方法をエクササイズ及び教材を利用しながら実習する。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	アカペラコーラスの実習③	
	2	コーラスアンサンブルの基礎①	20	コーラステクニック①	
	3	コーラスアンサンブルの基礎②	21	コーラステクニック②	
	4	コーラスアンサンブルの基礎③	22	コーラステクニック③	
	5	発声練習①	23	呼吸法①	
	6	発声練習②	24	呼吸法②	
	7	発声練習③	25	呼吸法③	
	8	アカペラコーラスの実習①	26	開口発声	
	9	アカペラコーラスの実習②	27	アカペラコーラスの実習	
	10	アカペラコーラスの実習③	28	コーラステクニック①	
	11	コーラステクニック①	29	開口発声	
	12	コーラステクニック②	30	発声練習	
	13	コーラステクニック③	31	コーラステクニック①	
	14	呼吸法①	32	コーラステクニック②	
	15	前期まとめ	33	コーラステクニック③	
	16	前期h復習 後期授業内容説明	34	コーラステクニック④	
	17	アカペラコーラスの実習①	35	コーラステクニック⑤	
18	アカペラコーラスの実習②	36	コーラステクニック⑥		
成績割合	テスト	実技テスト	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率				
	レポート	無し	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	島田道夫 マドリッド王位音楽院ディプロマコース修了。オペラ、オペレッタ、ミュージカル、音楽劇など幅広い分野で活躍。				

シラバス

科目名	DTMベーシック I		担当者名	山田 泰士		
学 科	ミュージック科		授業方法	実習		
認定単位	2単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	72時間	
開講学年	1学年	必・選				
授業目的	DTMの基本操作とテクニックを学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	DTMの使い方や音楽理論を習得し、同時に音楽的感性も向上する。					
授業概要	DTMを使った楽曲、効果音の制作とそれに伴う音楽理論や楽器知識、レコーディング知識の学習と実践。					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション	19	楽器知識		
	2	オリエンテーション	20	自主楽曲制作①		
	3	オリエンテーション	21	自主楽曲制作②		
	4	Studio Oneのインストールと基本的な使い方	22	自主楽曲制作③		
	5	ベーシックな打ち込み(ドラム)	23	自主楽曲制作④		
	6	ベーシックな打ち込み(ベース)	24	ミックス作業とプラグイン		
	7	ベーシックな打ち込み(ギター)	25	レコーディング機材と実習		
	8	ベーシックな打ち込み(ピアノ)	26	効果音の作成①		
	9	ベーシックな打ち込み(メロディ)	27	効果音の作成②		
	10	さまざまな楽器の打ち込み	28	I.完全自主制作①		
	11	打ち込みでの楽曲カバー①	29	I.完全自主制作②		
	12	打ち込みでの楽曲カバー②	30	II.完全自主制作①		
	13	音楽理論・楽典①	31	II.完全自主制作②		
	14	音楽理論・楽典②	32	楽曲発表とプレゼン①		
	15	音楽理論・楽典③	33	楽曲発表とプレゼン②		
	16	音楽理論・楽典④	34	まとめ1		
	17	音楽理論・楽典⑤	35	まとめ2		
	18	Cubaseの使い方と特徴	36	まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール	14歳からギターを始め、その後専門学校に入学しジャズ、ブルース、ラテン、ロックなど幅広い音楽の知識や技術、音楽理論などを学びつつ、様々な場所で演奏やアシスタントの経験をしながらか同学校を卒業。 現在は、レコーディング、ライブサポート、セッション、ギターレッスンと共に、作曲家、アレンジャーとして楽曲提供など、メジャー、インディーズ問わず活動をしている。					

シラバス

科目名	ミュージックセオリー I		担当者名	木下 龍平	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	音楽制作・楽器演奏に必要な音楽理論を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	世界で広く学ばれているジャズとクラシックの理論を学び、それらが近年のヒット曲にどのような影響を与えているかを知ることによって、音楽を多角的に捉える能力を身につける。				
授業概要	クラシック・ジャズの理論の講義を、楽器等で音を確認しながら行う。併せて、実際に楽曲で使用されている例も解説する。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	前期テスト解説	
	2	オリエンテーション2	20	メジャーペンタトニックスケールとマイナーペンタトニックスケール	
	3	オリエンテーション3	21	ブルースとブルースペンタトニックスケール	
	4	ポピュラー音楽で使われる音楽理論について～音名と階名	22	テンションノートとテンションコード	
	5	音階と中心音～メジャースケール	23	アヴェイラブルノートスケールという考え方	
	6	調と調性	24	チャーチモード①	
	7	音程と度数	25	チャーチモード②	
	8	小テスト	26	ドミナントスケール	
	9	コード①:コードネームの法則～3和音	27	小テスト	
	10	コード②:4和音	28	楽曲分析①	
	11	コード③:分数コード～小テスト	29	楽曲分析②	
	12	メジャーキーのダイアトニックコード	30	ハモリの付け方	
	13	コードのファンクション～ドミナント7thコード	31	小テスト	
	14	3種類のマイナースケールとマイナーキー	32	後期期末テスト	
	15	マイナーキーのダイアトニックコード～サブドミナントマイナー	33	後期テスト解説～総括	
	16	ツーファイブとドミナントモーション～セカンダリドミナント	34	確認テスト・まとめ1	
	17	小テスト	35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期期末テスト	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	木下龍平 アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。 SUPA LOVE所属作家。				

シラバス

科目名	応用ゼミ		担当者名	藤原 美穂子		
学 科	ミュージック科		授業方法	ゼミ		
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間	
授業目的	音楽を軸として実社会へアプローチしていく術を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカム)	三つのプロジェクトに分かれ、定性・定量的目標を立て、その目標に対してグループで達成するための協働力、柔軟なコミュニケーション力、課題解決力を養う。					
授業概要	音楽プラットフォーム運営(ビジネス)、ミュージックスクール運営(教育)、健康促進(福祉)の三つから各々選択し、グループ内で適切な目標設定を作り、その目標をどのようにアプローチすれば達成できるかを考える。ゼミ形式で行う。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	ゼミ概要説明 チームビルディング	19	企画②		
	2	各チーム ゼミの目的に沿った目標設定	20	企画③		
	3	企画①	21	連携先見学		
	4	企画②	22	連携先打ち合わせ①		
	5	企画③	23	各チームミーティング		
	6	プレゼンテーション	24	連携先打ち合わせ②		
	7	連携先の見学	25	企画実施①		
	8	連携先打ち合わせ①	26	企画実施②		
	9	各チームミーティング①	27	企画実施③		
	10	各チームミーティング②	28	企画実施④		
	11	連携先打ち合わせ②	29	企画実施⑤		
	12	企画実施①	30	各チームミーティング		
	13	企画実施②	31	企画実施⑥		
	14	企画実施③	32	企画実施⑦		
	15	中間発表	33	企画実施⑧		
	16	前期振り返り	34	企画実施⑨		
	17	チームビルディング	35	企画実施⑩		
	18	企画①	36	後期発表		
成績割合	テスト	無し	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	80%				
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 授業態度		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	藤原 美穂:ミュージカル・演劇への出演や、ジャズコーラスグループでの活動、子ども向けイベントの「唄のおねえさん」、他アーティストのコーラスサポート等、ライブやイベント、ディナーショー等への出演を多数経験。司会者としても長い経歴を持ち、延べ1000組にも及ぶ披露宴、イベント、企業のパーティーのMCを経験。 [ボーカル]					

シラバス

科目名	バンドアンサンブル／作品制作Ⅱ		担当者名	今村 陽子、藤原 美穂子	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	144時間
授業目的	音楽活動をする上で必要なプロデュース力を養う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	プロジェクトのスケジュールを適切に立て、実行する力を養う。				
授業概要	音楽プロジェクトのチームビルディング、楽曲制作、プロモーション撮影、ライブ企画のサイクルを通年で行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	プロジェクトプラン立て	19	ライブ演奏 プロジェクト振り返り	
	2	楽曲制作②	20	楽曲制作①	
	3	レコーディング①	21	楽曲制作②	
	4	レコーディング②	22	レコーディング①	
	5	MV収録①	23	レコーディング②	
	6	MV収録②	24	レコーディング③	
	7	ライブリハーサル	25	MV収録①	
	8	ライブ演奏	26	MV収録②	
	9	楽曲制作①	27	MV収録③	
	10	楽曲制作②	28	ライブリハーサル	
	11	レコーディング①	29	ライブ演奏 プロジェクト振り返り	
	12	レコーディング②	30	楽曲制作①	
	13	レコーディング③	31	楽曲制作②	
	14	MV収録①	32	レコーディング①	
	15	MV収録②	33	レコーディング②	
	16	MV収録③	34	MV収録	
	17	ライブリハーサル①	35	ライブリハーサル	
	18	ライブリハーサル②	36	ライブ発表 プロジェクト振り返り	
成績割合	テスト		学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校音楽芸術科卒業後カワイ音楽教室講師、東京工学院テクノスカレッジ講師となる				

シラバス

科目名	ビジネススキルⅡ		担当者名	東川 拳也	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会人基礎向上を目的とし、本物の職業人を目指す				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	適応力を身につけ、多様性の理解が出来るようになる				
授業概要	就職活動のため履歴書の作成方法や面接対策 社会人として必要な知識と理解 TECHNOS祭の準備と作業 TECHNOS展の準備と作業				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	2年生ですべきことの確認	19	TECHNOS祭の学科企画準備⑥	
	2	就職についての流れ	20	TECHNOS祭本番	
	3	自己理解するためのワークショップ	21	鑑賞会に当たり事前準備すること	
	4	ワークショップの講評	22	鑑賞会	
	5	卒後ビジョンについて	23	鑑賞会のディスカッション・講評	
	6	卒後ビジョン作成①	24	5年後・10年後の自分について	
	7	卒後ビジョン作成②	25	卒業研究の目的目標	
	8	卒後ビジョン修正	26	卒業研究の企画会議	
	9	卒後ビジョン発表	27	実施日に向けた準備すること	
	10	社会探求～現役で活躍されている卒業生から話を聞こう～	28	TECHNOS展に向けた企画会議	
	11	ビジネスマナー①言葉遣い	29	TECHNOS展へ向けた最終制作①	
	12	ビジネスマナー②電話対応や名刺交換ロールプレイ	30	TECHNOS展へ向けた最終制作②	
	13	TECHNOS祭の企画会議	31	TECHNOS展へ向けた最終制作③	
	14	TECHNOS祭の学科企画準備①	32	TECHNOS展へ向けた最終制作④	
	15	TECHNOS祭の学科企画準備②	33	TECHNOS展へ向けた最終制作⑤	
	16	TECHNOS祭の学科企画準備③	34	TECHNOS展へ向けた最終制作⑥	
	17	TECHNOS祭の学科企画準備④	35	TECHNOS展へ向けた最終制作⑦	
18	TECHNOS祭の学科企画準備⑤	36	まとめ		
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	30%	成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール	担任が担当する				

シラバス

科目名	アナライズⅡ		担当者名	森重 恭典	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	音楽制作・作曲・編曲に必要な楽曲分析力を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	既に習得している音楽理論の知識を基に楽曲分析することで、多種多様な音楽の理解力と創作力・アレンジ能力を身に付ける。				
授業概要	分析に必要な音楽理論の講義を音で確認しながら、様々なジャンルの楽曲分析を実施する。 習得している音楽理論の知識を基に楽曲分析することで、多種多様な音楽の理解力と創作力・アレンジ能力を身に付ける。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	既製楽曲のコード進行分析と研究①	19	コード進行の創作と分析①	
	2	既製楽曲のコード進行分析と研究②	20	コード進行の創作と分析②	
	3	既製楽曲のコード進行分析と研究③	21	コード進行の創作とコード・スケールの分析①	
	4	既製楽曲のメロディー分析と研究①	22	コード進行の創作とコード・スケールの分析②	
	5	既製楽曲のメロディー分析と研究②	23	コード進行とメロディーの創作・研究①	
	6	既製楽曲のコード進行とコード・スケールの分析と研究①	24	コード進行とメロディーの創作・研究②	
	7	既製楽曲のコード進行とコード・スケールの分析と研究②	25	コード進行とメロディーの創作・研究③	
	8	既製楽曲のメロディーとコード・スケールの分析と研究①	26	既製楽曲のメロディーヴォイシング解説①	
	9	既製楽曲のメロディーとコード・スケールの分析と研究②	27	既製楽曲のメロディーヴォイシング解説②	
	10	既製楽曲のメロディーとコード・スケールの分析と研究③	28	既製楽曲のメロディーヴォイシング実習①	
	11	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケール変換の実習①	29	既製楽曲のメロディーヴォイシング実習②	
	12	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケール変換の実習②	30	既製楽曲のメロディーヴォイシング実習③	
	13	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケール変換の実習③	31		
	14	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケールを用いたメロディー創作①	32		
	15	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケールを用いたメロディー創作②	33		
	16	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケールを用いたメロディー創作③	34		
	17	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケールを用いたメロディー創作④	35		
	18	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケールを用いたメロディー創作⑤	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	ソングライティングⅡ		担当者名	大滝 秀則	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	作詞作曲に関する様々な方法やアプローチの仕方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	詩先、曲先など様々な作品作りのアプローチの仕方やそこに伴うテクニカルや感情の流れ等を考え、個々の作品作りに対して様々な目線を養っていく。				
授業概要	実際に歌詞からメロディーを考えてみたり、あるメロディに歌詞を作成してみる。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	前期まとめ	
	2	既存の楽曲にオリジナルの歌詞を付ける。	20	ポップス曲①	
	3	メロディーのアレンジ①	21	ポップス曲②	
	4	メロディーのアレンジ②	22	ポップス曲③	
	5	メロディーのアレンジ③	23	ロック①	
	6	テーマに沿って歌詞の作成①	24	ロック②	
	7	テーマに沿って歌詞の作成②	25	ロック③	
	8	テーマに沿って歌詞の作成③	26	バラード①	
	9	メロディの作り方①	27	バラード②	
	10	メロディの作り方②	28	バラード③	
	11	メロディの作り方③	29	楽曲制作①	
	12	メロディの作り方④	30	楽曲制作②	
	13	譜面の作成①	31	楽曲制作③	
	14	譜面の作成②	32	楽曲制作④	
	15	楽曲制作①	33	楽曲制作⑤	
	16	楽曲制作②	34	楽曲制作⑥	
	17	楽曲制作③	35	楽曲制作⑦	
18	楽曲制作④	36	楽曲制作⑧		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率				
	レポート	無し	成績評価	出席率80以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	日本大学芸術学部音楽学科作曲コース在学中より、プロミュージシャンとしての活動を開始する。ヴォーカル、コーラスのスタジオミュージシャンとして、多数のCMソング やアニメ主題歌等のレコーディングに参加。その間、コンサートツアーでも、「和田アキ子」「石川さゆり」「村下孝蔵」「麻美れい」等のサポートメンバーとしてツアーに参加。				

シラバス

科目名	アンサンブルセオリーⅡ		担当者名	木下 龍平、山田 達也、吉池 千秋	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	144時間
授業目的	譜面を正しく理解し、演奏できるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	記譜法(音符、休符、演奏記号等の譜面の読み方・書き方に関するルール)を習得する。				
授業概要	譜面を見ながら演奏させた後、演奏技術やバンドアンサンブルの考え方に関するアドバイスを実技形式で行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	実技試験	
	2	オリエンテーション②	20	音作り研究	
	3	オリエンテーション③	21	バラード8ビート①	
	4	譜面のルール	22	バラード8ビート②	
	5	音符の種類と拍子	23	バラード8ビート③	
	6	シンコペーション	24	ファンク①	
	7	初見演奏 ポップス8ビート	25	ファンク②	
	8	初見演奏 ポップス8ビート②	26	ファンク③	
	9	初見演奏 ポップス8ビート③	27	ポリリズム 変拍子①	
	10	楽曲解説	28	ポリリズム 変拍子②	
	11	初見演奏 ロック①	29	ポリリズム 変拍子③	
	12	初見演奏 ロック②	30	ポリリズム 変拍子④	
	13	初見演奏 ロック③	31	ポリリズム 変拍子⑤	
	14	シャッフルビート	32	ジャズ・フュージョン①	
	15	シャッフルビート②	33	ジャズ・フュージョン②	
	16	ブルース①	34	ジャズ・フュージョン③	
	17	ブルース②	35	ジャズ・フュージョン④	
18	ブルース③	36	実技試験		
成 績 割 合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	吉池千秋(よしいけ ちあき) ベーシスト9月17日 東京生まれ高校卒業後19歳からプロ活動開始。◻イブツアール&レコーディング参加アーティスト、小田和正、甲斐よしひろ、チャゲ&飛鳥、鈴木雅之、徳永英明、ハイファイセット、稲垣潤一、森川由加里、織田裕二、時任三郎、影山ヒロノブ、堀江美都子、浅田信一、古市コータロー、他…◻サウンドトラック参加作品				

シラバス

科目名	コーラス基礎Ⅱ		担当者名	島田 道生	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	コーラスアンサンブルに於けるハーモニーの特徴を知り、それを実演するための方法を研究する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	コーラスアンサンブルを実習し、ハーモニーに対する聴力を養い、実演するための技術を養う。				
授業概要	コーラスアンサンブルに於ける呼吸法、発声法、表現方法をエクササイズ及び教材を利用しながら実習する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	アカペラコーラスの実習③	
	2	コーラスアンサンブルの基礎①	20	コーラステクニック①	
	3	コーラスアンサンブルの基礎②	21	コーラステクニック②	
	4	コーラスアンサンブルの基礎③	22	コーラステクニック③	
	5	発声練習①	23	呼吸法①	
	6	発声練習②	24	呼吸法②	
	7	発声練習③	25	呼吸法③	
	8	アカペラコーラスの実習①	26	開口発声	
	9	アカペラコーラスの実習②	27	アカペラコーラスの実習	
	10	アカペラコーラスの実習③	28	コーラステクニック	
	11	コーラステクニック①	29	開口発声	
	12	コーラステクニック②	30	コーラステクニック①	
	13	コーラステクニック③	31	コーラステクニック②	
	14	呼吸法	32	コーラステクニック③	
	15	前期まとめ	33	コーラステクニック④	
	16	前期復習	34	コーラステクニック⑤	
	17	アカペラコーラスの実習①	35	コーラステクニック⑥	
18	アカペラコーラスの実習②	36	内容まとめ		
成績割合	テスト	実技テスト	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	出席80%以上			
	レポート	無し	成績評価	出席率80%以上 90～100S 80～89A	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	1998年東京工学院専門学校講師に就任。歌役者、声楽家、ボイストレーナー、演出家、振付師、合唱指揮者、バリアフリーボーカリスト。武蔵野音楽大学大学院、マドリッド王立音楽院ディプロマコース修了。				

シラバス

科目名	DTMベーシックⅡ		担当者名	山田 泰士	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	基本的なDTMの使い方や汎用的なテクニックを学び、音楽における自己表現に生かす。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	DTMならではの音楽の考え方や作曲方法を学び、個人の音楽的視野と芸術性をより広げます。				
授業概要	DTMを使った楽曲制作とそれに基づくテクニックの学習と実践。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	シンセサイザーの使い方	
	2	DTM基礎知識確認①	20	ミックステクニック①	
	3	DTM基礎知識確認②	21	ミックステクニック②	
	4	コード進行に基づいた楽曲制作とテクニック①	22	マスタリング講義	
	5	コード進行に基づいた楽曲制作とテクニック②	23	I.楽曲分析とそれに基づいた楽曲製作①	
	6	コード進行に基づいた楽曲制作とテクニック③	24	I.楽曲分析とそれに基づいた楽曲製作②	
	7	リズムにおけるタイミングと聞こえ方	25	II.楽曲分析とそれに基づいた楽曲製作①	
	8	タイミングを考えた楽曲制作①	26	II.楽曲分析とそれに基づいた楽曲製作②	
	9	タイミングを考えた楽曲制作②	27	自由楽曲製作①	
	10	I.既存の曲を編曲①	28	自由楽曲製作②	
	11	I.既存の曲を編曲②	29	自由楽曲製作③	
	12	I.既存の曲を編曲③	30	自由楽曲製作④	
	13	I.既存の曲を編曲④	31	自由楽曲製作⑤	
	14	ゲーム音楽やSE/MAなどについて	32	作品の発表とプレゼン①	
	15	ゲームなどを想定した効果音の製作①	33	作品の発表とプレゼン②	
	16	ゲームなどを想定した効果音の製作②	34	作品の発表とプレゼン③	
	17	ゲームなどを想定したBGMの製作①	35	作品の発表とプレゼン④	
	18	ゲームなどを想定したBGMの製作②	36	まとめ	
成 績 割 合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>10% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	14歳からギターを始め、その後専門学校に入学しジャズ、ブルース、ラテン、ロックなど幅広い音楽の知識や技術、音楽理論などを学びつつ、様々な場所で演奏やアシスタントの経験をしながら同学校を卒業。 現在は、レコーディング、ライブサポート、セッション、ギターレッスンと共に、作曲家、アレンジャーとして楽曲提供など、メジャー、インディーズ問わず活動をしている。				

シラバス

科目名	ミュージックセオリーⅡ		担当者名	森重 恭典	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	楽器演奏・音楽制作・作曲・編曲に必要な音楽理論を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	既に習得している音楽理論の知識を基に多種多様な音楽を研究して、演奏表現・創作に活用する能力を身に付ける。				
授業概要	楽器演奏・音楽制作に必要な音楽理論の講義を音で確認しながら、様々なジャンルの楽曲の研究を実施する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	音階・調性の解説①	19	コード・スケールの解説①	
	2	音階・調性の解説②	20	コード・スケールの解説②	
	3	音程・コードの解説①	21	コード・スケールの解説③	
	4	音程・コードの解説②	22	コード・スケールの解説④	
	5	コードネーム・和音数字の解説①	23	既製楽曲のコード進行とコードスケールの研究・解説①	
	6	コードネーム・和音数字の解説②	24	既製楽曲のコード進行とコード・スケールの研究・解説②	
	7	既製楽曲のコード進行を研究・解説①	25	既製楽曲のコード進行変換① (リハーモナイズ)	
	8	既製楽曲のコード進行を研究・解説②	26	既製楽曲のコード進行変換② (リハーモナイズ)	
	9	既製楽曲のコード進行を研究・解説③	27	既製楽曲のコード進行変換とメロディー変換①	
	10	既製楽曲のコード進行を研究・解説④	28	既製楽曲のコード進行変換とメロディー変換②	
	11	音階概論	29	既製楽曲のコード進行変換とメロディー変換③	
	12	音階各論① 半音階・全音階・長音階・短音階	30	コード進行とメロディーの創作	
	13	音階各論② 五音音階(ペンタトニック)・テトラコードの解説	31	コード進行とメロディーの創作②	
	14	コードと音階の関係と調性	32	コード進行とメロディーの創作③	
	15	既製楽曲のコード進行とメロディーの関係についての研究・解説①	33	コード進行とメロディーの創作④	
	16	既製楽曲のコード進行とメロディーの関係についての研究・解説②	34	コード進行とメロディーの創作⑤	
	17	サブコードの解説①	35	筆記テスト	
18	サブコードの解説②	36	振り返り		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>10% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	国立音楽大学作曲科在学中にベース奏者としてプロ活動。同時に音楽専門学校講師として音楽理論・アレンジ等指導者として活動。現在東京工学院ミュージック科講師として教壇に立つ傍らミュージカル俳優や声優のヴォイストレーナーとして活動、幅広いジャンルの音楽教育に力を注いでいる。				